

かなや明恵峡温泉の今後のあり方（運営方法等）について
サウンディング型市場調査を実施しました

有田川町では令和6年3月18日(月)～6月7日(金)にかけて、かなや明恵峡温泉の今後のあり方（運営方法等）についてのサウンディング調査を実施いたしました。本調査ではかなや明恵峡温泉のもつ市場価値や事業の可能性、民間事業者の意向等を把握することを目的とし、参画いただいた民間事業者と個別に対話を行いましたので、その結果を公表します。

サウンディング調査報告資料

1. 参加者

参加申し込みのあった4社と対話を実施しました。

2. 主な意見

項目	主な意見概要
(1) 既存施設について	
建物	<ul style="list-style-type: none">樽をイメージされた外観が珍しく特徴的なので PR ポイントになる。天井が高く開放感を感じられる。一方で空調は効きにくくロスが多い印象。館内は清掃が行き届いていて清潔感がある。
設備	<ul style="list-style-type: none">サウナが無いのが残念。敷地内でもっと活用できそうな部分が多い。
立地	<ul style="list-style-type: none">高速道路のインターチェンジより約 15 分とアクセスの良さが魅力。大阪から気軽に来れる距離感では。

項目	主な意見概要
(2) リニューアルについて	
付加価値	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプやグランピングなど、アウトドア+温泉という切り口がよいのではないかと。 ・ペット連れのお客様が楽しめる工夫を行い新たな客層の獲得は出来そう。ペットユーザーのロコミはすごい力があるし、客単価が高い。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・入浴施設としてだけでは収益性に乏しいため宿泊機能を追加し、観光客の滞在を促すことで周辺地域を含めた観光の目的地としてはどうか。 ・周辺のアクティビティが充実していないので、施設自体に目的を持たせた仕掛けを行う必要があると考える。

項目	主な意見概要
(3) 運営について	
運営	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の指定管理者制度のような形では、自由度が低いため民間企業の強みを活かすににくい。自由度が高いほうが運営方法の幅が広がってよい。
PFI	<ul style="list-style-type: none"> ・「やりたい事業者」にしてみれば、すごく合理的で適切な方法では。 ・レジャー産業ではPFI方式は前向きに捉えられている認識。 ・指定管理者制度よりも責任や成果が強く求められるので、やる気のある事業者としては自由度の高い方法で運営できることが好ましい。 ・単独資金での事業実現は厳しいところがあるので、何らかの形で自治体の援助をいただきたい。